Publication: The Home Living
Country: Japan
Date/Issue: 5 June 2009 / 1430

IFFS／AFS2009

シンガポールデザインをアジアから世界へ

〈7〉

優越国際（香港）有限公司

ECサイト運営とユニークなコンセプト

「ノーデザイン・ノーライフ」

今回は優越国際（香港）有限公司を紹介する。同社は1997年にチェン・ハオラン氏とチェン・アンラン氏ら兄弟が設立した中国企業。ブランドコンセプトを「ノーデザイン・ノーライフ」としている。国際企業として30カ国以上に、工場5カ所、デザインセンター1カ所、代理店120カ所、国内に直営店230カ所を展開する。98年に家具製造を始めて以来、より良い暮らし提案を目指し商品開発に取り組む。

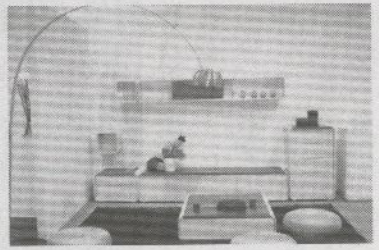
今回ホール8の一画に初出展を遂げた同社。「oodライフ」「oodショップ」「優越music+coffee」の3ブランドが展開される中、「oodライフ」のダイニングセット、テレビボード、キャビネット、シェルフなど新製品が紹介された。

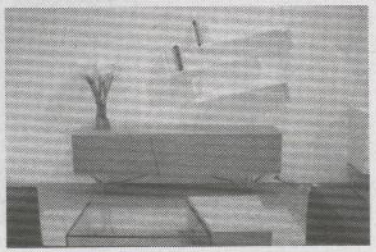
ホワイトカラーのシンプルなデザインの製品が多く、リビングルームやダイニングルームの数パターンの空間提案をしていた。例えばラグの上にローテーブル、その周囲に3シーターソファ、照明が置かれ、壁にはウォールキャビネット、その下に花瓶やオブジェの置かれたテレビキャビネットがあるといった具合。

マーケティング・バイスマネージャーの王光華氏は、「昨日も多くの来場者がブースを訪れ、反応は良かった。同社の製品は、洗練されたデザインと適正な価格が特徴で、買い付けも多く検討されている。新製品をデザインしたのは10人ほどの自社デザイナーで、価格帯は中間層、若年層をターゲットに商品を提案している。最近では、シンガポールで代理店契約を結び、同展の状況も含め良いスタートをきれた」と語った。

同社のメインマーケットはヨーロッパで、主にオランダ、スウェーデン、ドイツ、フランスへ商品を輸出している。昨年の売上げはオランダ、フランスが好調。ヨーロッパに直営店をオープンすることが今後の課題。ドイツ市場拡大を視野に入れ、2010年のimmケルンへの出展も検討している。中国国内では毎年、広州国際家具博覧会と中国国際家具展覧会（上海）へ出展。日本への輸出に関心はあるが、市況を考慮して検討中。

自社サイト「ood shop」では、ホームページに商品が価格とともにずらりとレイアウトされ、ECサイトとしてのデザインも簡易で優れている上、プレスリリース、アパレルコンテンツとしてファッションコーディネートの提案まで閲覧可能。現在は中国語対応のみだ。（www.oodshop.com）（続く　小林）





リビング提案の展示模様